

公益信託「サントリー世界愛鳥基金」 2023年度助成先決定



絶滅危惧種アホウドリのコロニー（集団営巣地）

提供：（公財）山階鳥類研究所

サントリーホールディングス（株）が設立した公益信託「サントリー世界愛鳥基金」は、2023年度の助成先を「鳥類保護団体への活動助成」「地域愛鳥活動助成」「水辺の大型鳥類保護」の3部門から計22件に決定しました。今年度の助成金額は、約4,000万円となります。

当社は、野鳥が環境のバロメーターであることへの気づきから、1973年より愛鳥活動を開始しました。同活動は今年で50周年を迎えます。

「サントリー世界愛鳥基金」は、さまざまな鳥類保護活動への助成により地球環境の保全・再生に貢献することを目的として1989年にサントリー（株）が創設、1990年に公益信託として許可されたものです。2023年度を含めた助成対象は延べ494件、助成総額は6億円超となります。

国内だけでなく海外の多様な鳥類保護活動に対してもいっそう支援の輪を広げるべく、昨年度より「鳥類保護団体への活動助成」部門において、海外の鳥類保護

団体も応募可能^{*}となる「グローバル募集スキーム」を開始しています。今後も国内外のさまざまな鳥類保護活動を支援し、愛鳥活動に取り組んでいきます。

※日本の活動団体を通じた申請が必要

●サントリーの愛鳥活動について

鳥類保護活動を通じて地球環境を見つめなおすことを目的に、“Today Birds, Tomorrow Humans.”「今日、鳥たちに起こる不幸は、明日、人間の身に降りかかるかもしれない。」のスローガンのもと、1973年に「愛鳥キャンペーン」を開始。新聞広告やポスターなどによる啓発活動のほか、白州蒸溜所の敷地にバードサンクチュアリを設け、野鳥調査や観察会、巣箱かけなどを行ってきました。

1989年には、愛鳥活動のいっそうの充実を図るため、公益信託「サントリー世界愛鳥基金」を創設し、多様な鳥類保護活動を支援しています。

現在は「今日、鳥たちに起こる幸福は、明日の人間を幸せにするかもしれない」という前向きな捉え方で、「ネイチャー・ポジティブ」の考えのもと、「鳥を守る」だけでなく「鳥たちが棲める環境を守る」という思いで活動を継続しています。また、全国15都府県22箇所で森林保全活動を展開している「サントリー天然水の森」において、専門家による詳細な野鳥調査を継続実施し、その調査は、森林整備や自然再生の1つの指針として活かされています。生態系ピラミッドの頂点に位置する上位捕食者である猛禽類が、営巣・採餌・子育てが可能なくらいに豊かでバランスのとれた自然環境を目指す「ワシ・タカ子育て支援プロジェクト」にも取り組んでいます。

— 記 —

●「サントリー世界愛鳥基金」2023年度助成先

「鳥類保護団体への活動助成」部門 10件 総額1,820.1万円

団体名	対象活動	助成額 (万円)
公益財団法人 日本鳥類保護連盟	奄美大島に生息する希少鳥類の調査・保護活動	313
公益財団法人 山階鳥類研究所	絶滅危惧種アホウドリの保全及び学術研究のための普及啓発活動	230
特定非営利活動法人 サロベツ・エコ・ネットワーク	発信機で明らかになる道北タンチョウ渡りと越冬地	229.1
Philippine Eagle Foundation (フィリピンワシ保護財団)	フィリピンミンダナオ島におけるフィリピンワシの感電防止対策と生物多様性に富む原生林の保全再生	221.1

公益財団法人 富山市ファミリーパーク公社	ヨウムの野生復帰を想定した繁殖技術の確立	208.2
公益社団法人 日本動物園水族館協会	ライチョウの中央アルプスへの再導入および生息域内保全に貢献するための飼育下保険集団の創出に向けた技術開発	207.6
日本野鳥の会 佐賀県支部	コウノトリ繁殖支援活動	150
特定非営利活動法人 NRDAアジア	長崎県におけるカンムリウミスズメの生息状況	91.9
水鳥研究会	コアジサシの水上営巣地への誘致と越冬地の解明	86.2
特定非営利活動法人 三段峡 — 太田川流域研究会	ヤマセミの環境保全活動を未来へつなぐ	83

「地域愛鳥活動助成」部門 10件 総額179万円

団体名	対象活動	助成額 (万円)
飯田市立飯田西中学校 愛鳥園芸委員会	野鳥の観察や生育環境保護を通して、愛鳥精神を高め、自然保護に奉仕する。	20
石巻市立北上小学校 野鳥観察クラブ	愛鳥活動を通し、野生生物への関心を高め、自然を大切にしようとする気持ちを育てる。	20
宇部野鳥保護の会	小野湖のオシドリ保護と環境保全	20
大崎市立田尻小学校・ 野鳥観察クラブ	野鳥の観察	20
昆陽池公園野鳥観察グループ 「チームK」	兵庫県伊丹市昆陽池公園における野鳥継続観察と市民への自然の素晴らしさの訴求	20
新潟市立赤塚中学校 白鳥環境愛護委員会	白鳥の保護・観察	20
よしかわ“コウノトリ”ファンクラブ	コウノトリが住み続ける環境整備	20
日本野鳥の会東富士・ 静岡県野鳥愛護協会東富士 キッズ隊	野鳥観察を通してふるさと富士山の自然の大切さを知る。	18.7
香川県立香川中央高等学校 自然科学部	香川中央高校周辺で採集されるペリットからごみ問題を考える	10.3
静岡県立静岡城北高等学校 科学部	雷鳥の保護活動	10

「水辺の大型鳥類保護」部門 2件 総額2,000万円

団体名	対象活動	助成額 (万円)
公益財団法人 日本生態系協会	コウノトリ定着・広域ネットワーク推進プロジェクト	1,200
トキの水辺づくり協議会	トキと人の共生を目指した水辺づくり ～ 天王川流域 を中心とした自然再生の取組 ～	800

▼サントリーグループの環境活動 <https://www.suntory.co.jp/eco/>

▼サントリーグループの愛鳥活動 <https://suntory.jp/BIRDS/>

▼「サントリー 天然水の森」 <https://www.suntory.co.jp/eco/forest/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

水と生きる SUNTORY

自然と水の恵みに生かされる企業として、貴重な水資源を守ること。

さまざまな企業活動を通じて社会に潤いをもたらし、社会にとっての水であること。

社員一人ひとりが水のように自在にしなやかに挑戦できる会社であること。

「人間の生命(いのち)の輝き」をめざす想いを、「水」に託して伝えるメッセージです。